

公益財団法人日本スポーツ協会
公認スポーツ指導者養成講習会

講習・試験免除承認システム の改定について

令和元年	6月28日 (金)
	7月 3日 (水)
	7月 9日 (火)
	7月19日 (金) ★



公益財団法人

日本スポーツ協会

●講習・試験免除承認システムとは

- 日本スポーツ協会で実施している公認スポーツ指導者養成講習会と同じカリキュラムを大学や専門学校等の承認校で履修することで、講習・試験の一部またはすべてが免除されるシステム
- 通称：「免除適応コース」

●課題

- 2019年4月1日から公認スポーツ指導者制度を改定施行したことに伴う対応が必要
- 卒業年次でないと修了証明書の申請ができない
 - └実際に資格認定されるのは卒業後であるため、就職活動に使いつらい
 - └卒業後に資格登録をせずに認定に至らないという人が多い

●改定内容

1. 共通科目コース審査要件の改定

2019年度からの指導者制度改定に伴い共通科目カリキュラムが変更されたことによる対応

2. 資格を取得しやすくするための修了要件の改定

共通科目Ⅰコースの解禁、在学中の修了（登録）申請の解禁、オンラインテストの活用等

1. 共通科目コース審査要件の改定

3

●申請書類（審査項目）

～2019	2020～（2024～完全移行）
科目内容対応表	科目内容対応表 * 1
シラバス（各学校の様式）	シラバス（各学校の様式）
講師名簿	講師名簿
講師個票	講師個票 * 2
非常勤講師就任証明書（専門学校のみ）	－

* 1 共通科目カリキュラム変更に伴い審査方法・様式に変更あり

* 2 講師要件の変更あり

1. 共通科目コース審査要件の改定

4

●科目内容対応表の形態

～2019

I～Ⅲそれぞれの対応表



共通Ⅰ
(35h)

共通Ⅱ
(35h)

共通Ⅲ
(82.5h)

- ・ 共通科目Ⅰ＋Ⅱコース (70h以上)
- ・ 共通科目Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲコース (152.5h以上)

I～Ⅲそれぞれに別の科目内容が設定されている。

* 「スポーツと法」は共通Ⅱのみなど

2020～(2024～完全移行)

ひとつの対応表



共通科目対応表

- ・ 共通科目Ⅰコース (45h以上) * NEW
- ・ 共通科目Ⅱコース (135h以上)
- ・ 共通科目Ⅲコース (150h以上)

科目内容は共通。時間数(学びの深さ)によってI～Ⅲを区分する。

1. 共通科目コース審査要件の改定

5

●時間数

～2019

総時間数が各コース規定の時間数を超える

コース	総時間
共通Ⅰ＋Ⅱ	70h
共通Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ	152.5h

2020～（2024～完全移行）

総時間数及び「**コーチングを理解しよう**」の区分の時間数が各コースの規定時間数を超える

コース	総時間	コーチング (人間力)
共通Ⅰ	45h	16h
共通Ⅱ	135h	46h
共通Ⅲ	150h	51h

＊「コーチングを理解しよう」＝モデル・コア・カリキュラム（MCC）における「人間力」に相当する部分

＊MCCにて「人間力」に関わる時間数に比重が置かれた（全体の34%）ことに鑑み、各コースの規定の総時間数に0.34を乗じた時間数を「人間力」の最低時間数として設定する

1. 共通科目コース審査要件の改定

6

●対応の方法

～2019

対応表（共通Ⅰ＋Ⅱコース）

免除申請する 科目名 (学校での科目名)	共通科目内容		対応 時間(h)	シラバスとの対応 (第○回)
スポーツ社会学	1	I-1-① スポーツの概念と歴史	2	1
	2	I-1-② 文化としてのスポーツ	2	2
	22	Ⅱ-1-① 社会の中のスポーツ	2	3
	34	Ⅱ-5-③ 障害者とスポーツ	4	5,6
合計			70h	

シラバス

前期 スポーツ社会学
担当 体協 一郎

- 第1回 スポーツの歴史
第2回 スポーツの文化
第3回 社会の中のスポーツ
第4回 ○×○×

共通科目内容
を行っている
かチェック

対応表に共通科目内容の網羅状況と授業の何回目で行うかを記載

2020～（2024～完全移行）

対応表（共通Ⅱコース）

対応表（共通Ⅱコース）		
共通科目内容	免除申請する 科目名 （学校での科目名）	対応時間（h）
コーチングを理解しよう	コーチング学 スポーツ社会学	46
1.コーチングとは		
2.コーチに求められる役割		
3.コーチに求められる知識とスキル		
グッドコーチに求められる医・科学的知識	トレーニング学 スポーツ医学	70
1.スポーツトレーニングの基本的な考え方と理論体系		
2.体力のトレーニング		
3.スキルのトレーニング		
合計		135h

シラバス（イメージ省略）

対応表に共通科目内容を実施する授業科目を記載 ※「授業の何回目で行う」までの記載は不要

1. 共通科目コース審査要件の改定

7

●講師基準

～2019

大学

国・公・私大学、短期大学において当該専門領域において単位を認定できる者。

専門学校

共通科目Ⅰ 以下のいずれかの条件を満たす者。

1. 国・公・私立の大学、短期大学における教育実績を持つ者。
2. 社会体育系専門学校等における教育実績を持つ者。
3. 各科目の専門領域において、教育実績または研究実績を持つ者。
4. 中・高等学校における体育教員としての教育実績を持つ者。
5. 日本体育学会、日本体力医学会など体育・スポーツに関係する学会に所属する者。
6. 社会教育主事（スポーツ担当）経験者。
7. 国、地方公共団体または公益法人等の研究機関に勤務する研究者（指導者を含む）。
8. その他、上記に準ずる者であると日本スポーツ協会が認める者。

共通科目Ⅱ・Ⅲ 以下のいずれかの条件を満たす者。

1. 国・公・私立の大学、短期大学の講師以上の経験者で、担当科目の専門領域においての教育実績及び研究実績を持つ者。
2. 日本体育学会、日本体力医学会など体育・スポーツに関係する学会に所属し、担当科目の専門領域においての研究実績を持つ者。
3. 国、地方公共団体または公益法人等の研究機関に勤務する研究者で、担当科目の専門領域においての研究実績を持つ者。
4. 大学卒業後、社会体育系専門学校において、10年（大学院卒業者は8年）以上の専門領域の教育実績及び研究実績を持つ者。
5. その他、上記に準ずる者であると日本スポーツ協会が認める者。

2020～（2024～完全移行）

大学・専門学校共通

・国・公・私大学、短期大学、専門学校において当該専門領域において単位を認定できる者。

・各学校に1人、日本スポーツ協会が開催するコーチデベロッパー養成講習会を修了した専任の養成主任を置かなければならない

*

*ただし、共通科目Ⅲコースは2023年度まで、共通科目Ⅱコースは2025年度までは、配置を猶予する。共通科目Ⅰコースは、各学校の配置状況に鑑み、2026年度以降で配置義務付けの開始年度を決定する。

1. 共通科目コース審査要件の改定

●講師基準

■コーチデベロッパーとは * コーチデベロッパー養成講習会開催要項抜粋

公益財団法人日本スポーツ協会（以下「当協会」という。）は、グッドプレーヤーを育てるグッドコーチ（公認スポーツ指導者）を養成するための共通科目集合講習会において、アクティブラーニングを主体とした学びの場を提供する。

そのため、スポーツの価値を高めるための時代をリードするコーチング（プレーヤーの目標達成に向け、プレーヤーの有能さと人間性を高めていく支援を行っていくプロセス）について正しく理解し、常に学び続けるとともに、受講者の学びを支援することのできるコーチデベロッパー（コーチ育成者）を養成する。

⇒免除適応コース承認校においても、通常の養成講習会と同様に学修者本位の学びを支援することを目的に、コーチデベロッパーを養成主任として配置することを要件とする

■共通科目コース養成主任（以下、養成主任という）の配置義務化

- ①養成主任は、共通科目コースの運営（カリキュラム編成、講師編成等）をマネジメントできる者であること
- ②養成主任となる者は、免除適応コースを申請する年度までに、コーチデベロッパー養成講習会を修了すること
- ③養成主任は当該学校の専任教員であること

1. 共通科目コース審査要件の改定

9

●共通科目コース審査要件（まとめ）

～2019	2020～（2024～完全移行）
総時間数が共通科目Ⅰ・Ⅱで70時間、共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲで152.5時間を超えなければならない	総時間数が <u>共通Ⅰで45時間</u> 、共通Ⅱで <u>135時間</u> 、共通Ⅲで <u>150時間</u> を超えなければならない。
<u>科目単位の時間数は問わない</u>	<u>「コーチングを理解しよう」の区分の時間数が共通Ⅰで16時間、共通Ⅱで46時間、共通Ⅲで51時間を超えていなければならない。</u>
科目内容対応表において共通科目内容を実施する授業科目と <u>何回目で行うか</u> を示す	科目内容対応表において共通科目内容を実施する授業科目を示す
－	<u>各学校に専任教員1人をコーチデベロッパー（養成主任）として配置しなければならない（段階的に導入）</u>
共通科目Ⅰのみのコースは <u>設置できない</u>	共通科目Ⅰのみのコースも <u>設置可能</u>

2. 資格を取得しやすくするための修了要件の改定

10

1. 修了要件の変更

～2019	2020～（2024～完全移行）
承認された単位の修得	承認された単位の修得
<u>卒業年次のみ</u>	<u>在学中であれば可（半期ごと）</u>
<u>卒業（見込み）でなければならない</u>	<u>卒業は問わない</u>
<u>（一部学校除き）共通Ⅰのみは申請不可</u>	<u>共通Ⅰ＝コーチングアシスタント申請可※</u>
－	<u>オンラインテストの合格＊共通科目のみ</u>

●共通科目検定試験（オンラインテスト）の導入

- 共通科目コースはこれまでは検定試験を行っていなかったが、オンラインテストを試験として導入する（通常の講習会では事前学習として行っているもの）。

※旧カリキュラムの共通Ⅰ（スポーツリーダー）については、新共通科目カリキュラムの移行前であっても2023年度までは申請可能とする（これまでは分類A・Bのみ申請可能）。

2. 資格を取得しやすくするための修了要件の改定

11

II. 修了に関する手続きの変更

～2019	2020～（2024～完全移行）
修了証明書を発行する	修了証明書は <u>発行せず</u> 、 <u>指導者マイページにて管理</u>
修了証明書発行料を徴収	修了の手続きに係る料金は <u>徴収しない</u>
1年ごとに申請（卒業年次のみ）	<u>半年ごと</u> に〆切を設け、 <u>随時申請</u>

●備考

- 修了証明書発行とそれに伴う発行料の徴収を廃止し、**修了≡資格認定**（別途登録手続きは必要）とする。
 - ⇒手続きの迅速化、学生の負担減
 - ⇒在学中の資格登録の促進

2. 資格を取得しやすくするための修了要件の改定

12

II. 修了に関する手続きの変更

●修了～登録にかかり学生が負担する料金の比較（参考）

< 共通科目 I + II のみ > → 負担増

これまで「修了」までで終わっていた人にとっては負担が増す。
「修了～登録」まで至っていた人にとっては負担が減る。

料金の区分		～2019 (A)	2020～ (B)	差 (B-A)
修了証明書発行料	共通科目 I + II	6,480円	－	-6,480円
登録料（4年間） ・ コーチングアシスタント(CA)	基本登録料	－	10,000円	10,000円
	資格別登録料	－	0円	0円
	初期登録手数料	－	3,000円	3,000円
合計		6,480円	13,000円	6,520円

< ジュニアスポーツ指導員 > → 負担減

* 消費税は8%で計算

料金の区分		～2019 (A)	2020～ (B)	差 (B-A)
修了証明書発行料	共通科目 I + II	6,480円	－	-6,480円
	ジュニアスポーツ指導員	3,240円	－	-3,240円
検定試験受験料	ジュニアスポーツ指導員	10,800円	10,800円	0円
登録料（4年間） ・ コーチングアシスタント(CA) ・ ジュニアスポーツ指導員(JR)	基本登録料（1人当たり）	10,000円	10,000円	0円
	資格別登録料	0円	0円	0円
	初期登録手数料（CA）	－	3,000円	3,000円
	初期登録手数料（JR）	3,000円	3,000円	0円
合計		33,520円	23,800円	-6,720円

2. 資格を取得しやすくするための修了要件の改定

13

Ⅲ. 共通科目を修了する場合の取り扱い（学生が得られる権利）の変更

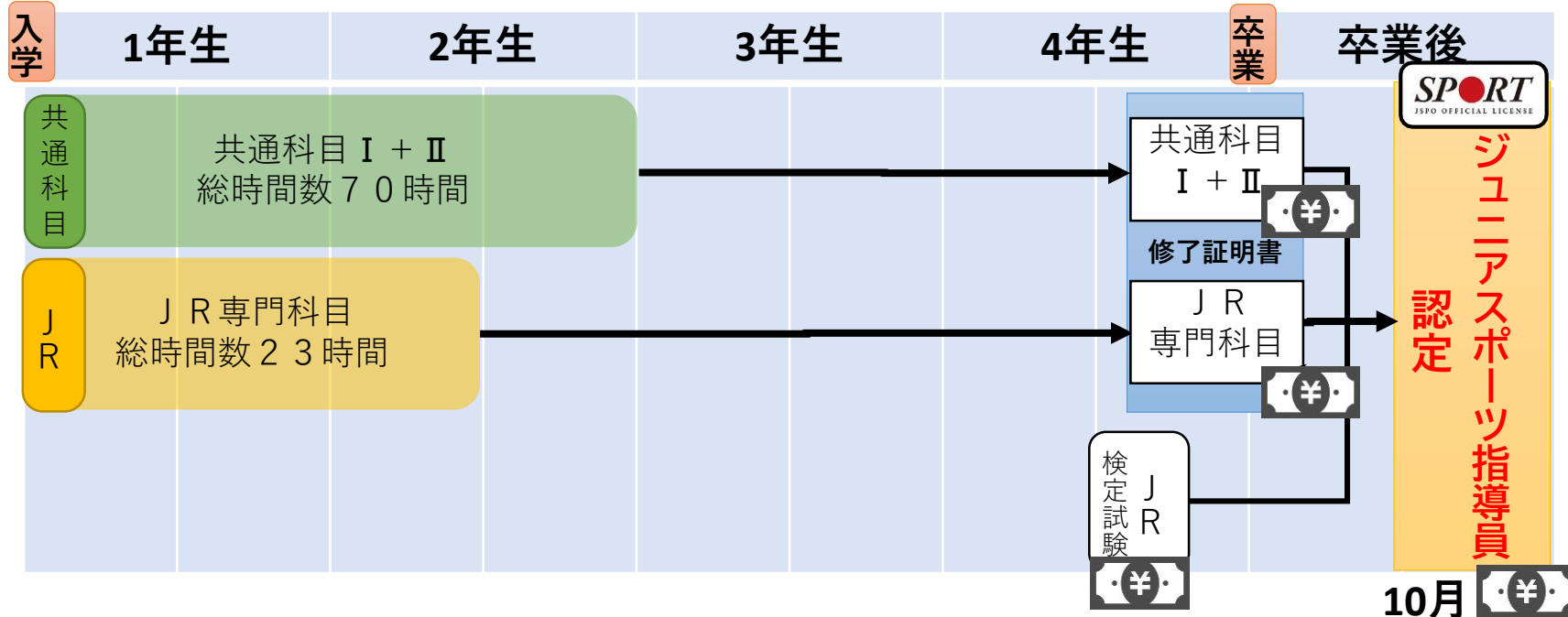
～2019	2020～（2024～完全移行）
修了証明書（共通科目）、認定証（スポーツリーダー）を発行	<u>コーチングアシスタントの登録証・認定証を発行</u>
修了証明書、認定証は永年有効	資格認定の <u>有効期間は4年間（更新制）</u>
サービスなし	<u>有資格者のサービス</u> ・指導者マイページの利用 ↳公認スポーツ指導者マッチング ↳研修会受講 ↳各種ダウンロードサービス など ・情報誌「Sport Japan」購読（隔月） ・最新情報の提供 など

講習・試験免除承認システムの改定イメージ

14

～2019

(例) 共通科目 I + II コース、ジュニアスポーツ指導員 (JR) コース承認校



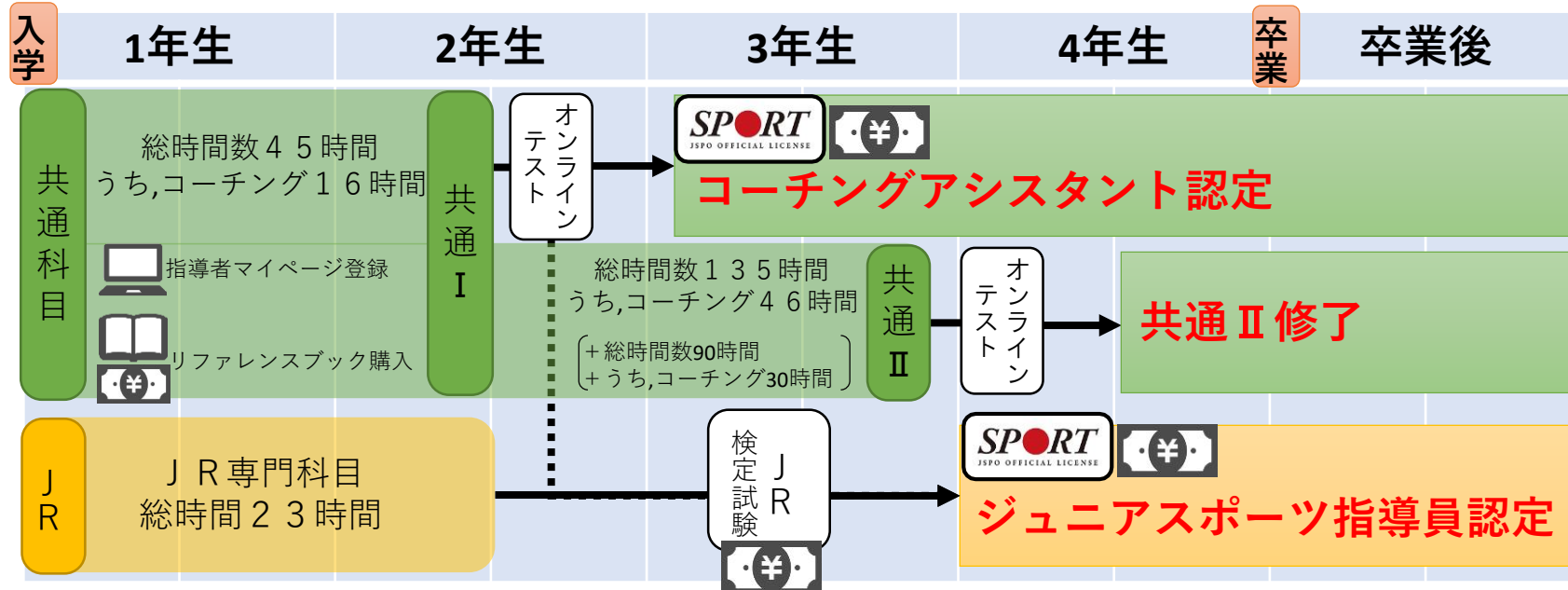
- 修了証明書の発行は卒業年次のみであり、単位修得と卒業が要件
- 検定試験受験は卒業年次以降可能
- 修了証明書の発行（共通科目+専門科目）と検定試験合格（専門科目）双方を満たした者が資格認定の権利を得る（最短でも卒業の約半年後の10月1日からの認定）

講習・試験免除承認システムの改定イメージ

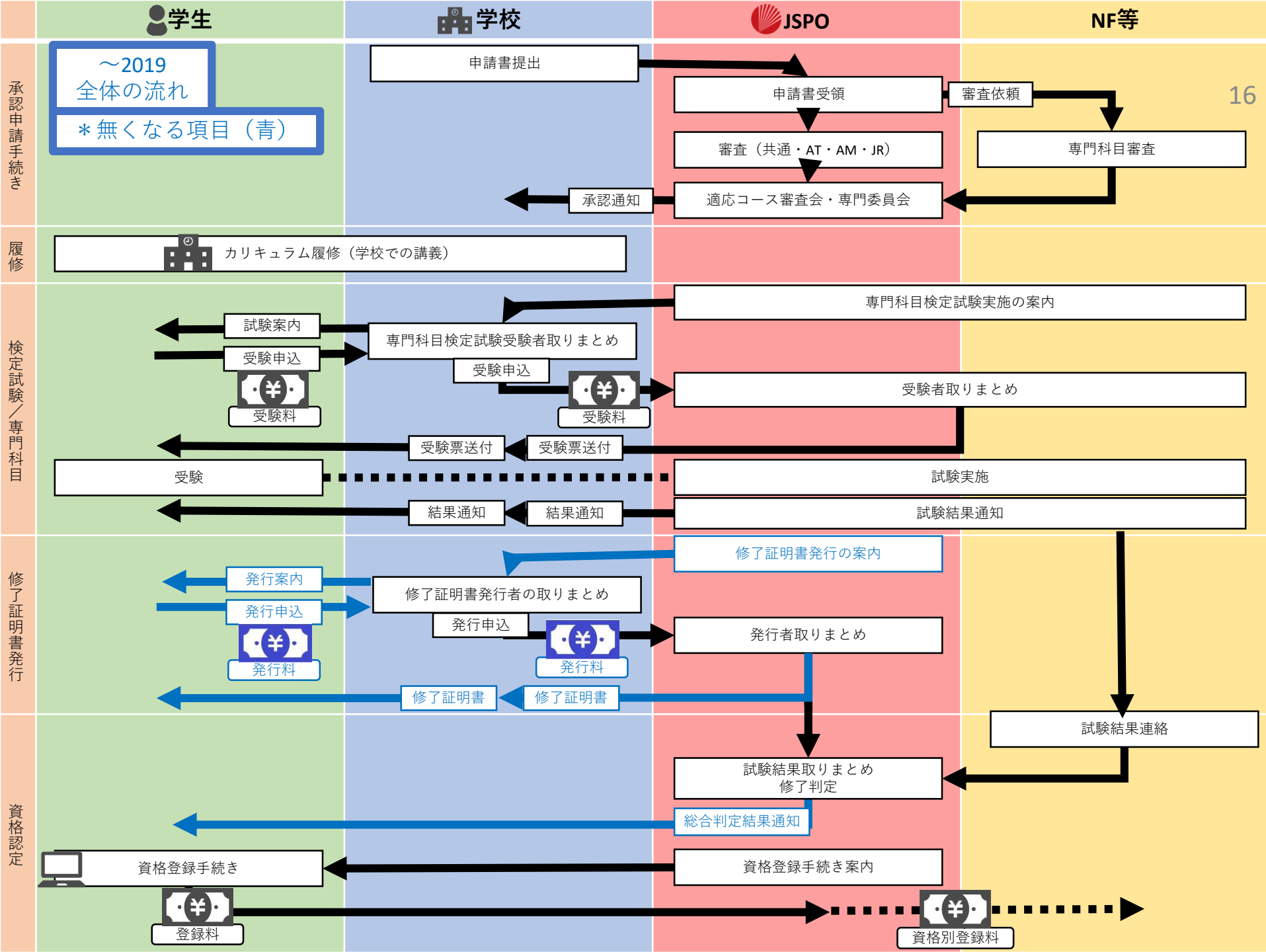
15

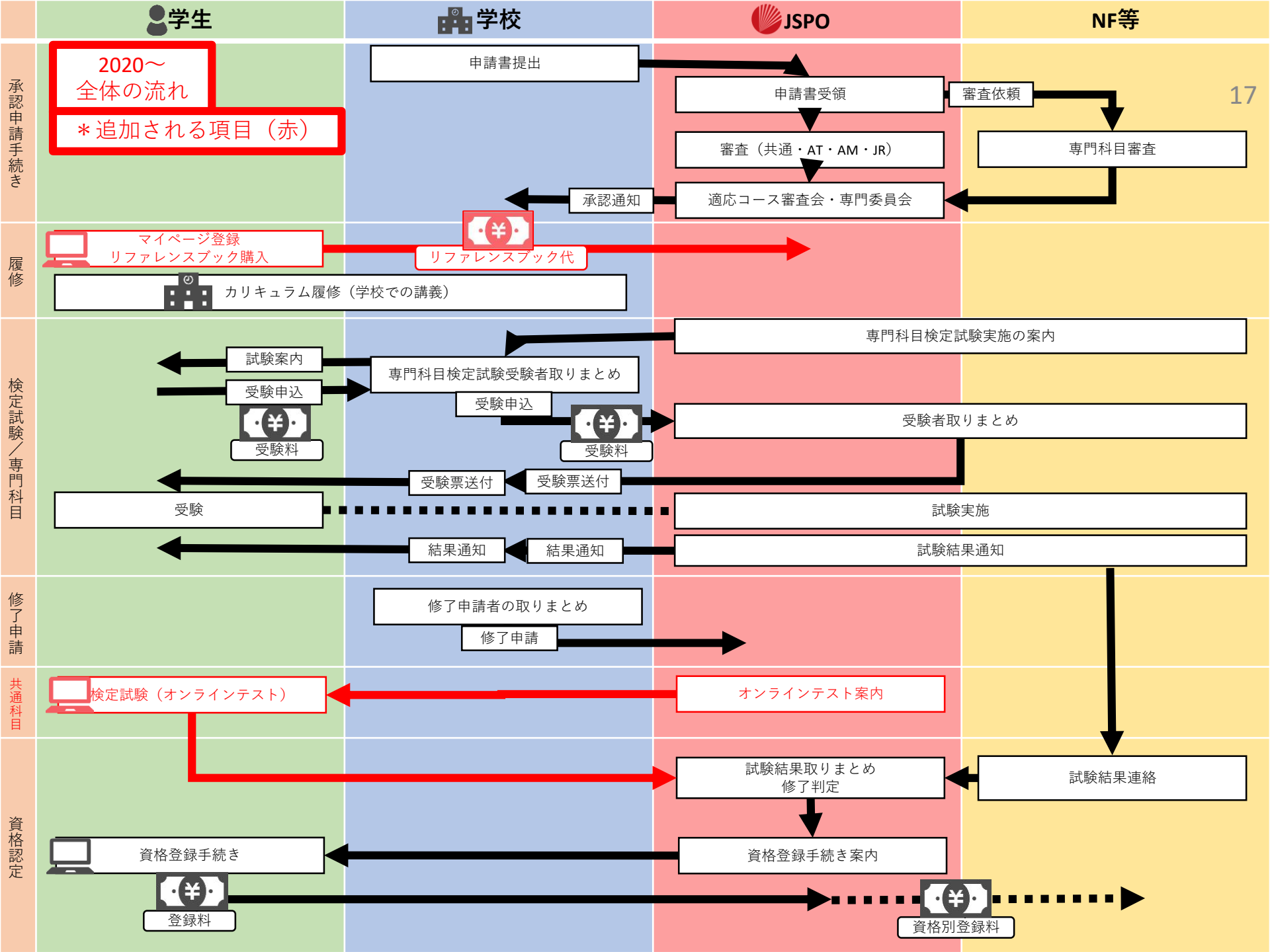
2020～

(例) 共通科目Ⅱコース、ジュニアスポーツ指導員（JR）コース承認校



- 要件（単位修得＋試験合格）を満たせば在学中でも資格認定可能
- 修了証明書の発行及び発行料を廃止し、修了≒資格認定とする
- 共通科目コースに検定試験（オンラインテスト）導入（回答期間は1か月間を予定）





講習・試験免除承認システムの改定スケジュール

18

新共通科目カリキュラムでの申請は2020年度から受け付けるが、カリキュラムの変更や在学生への対応に相当な期間を要することから、移行期間を設定する。

	承認申請		養成主任（CD）配置義務			修了申請
			共通Ⅰ	共通Ⅱ	共通Ⅲ	
2019年度	旧カリキュラム 申請可	新カリキュラム 申請可	* 2026 年度以降 順次 配置 免除	配置 免除	配置 免除	<全学校・学生> ・共通科目Ⅰのみの 申請可 <新カリキュラム 移行学生のみ> ・在学中の申請可 ・卒業は問わない
2020年度						
2021年度						
2022年度						
2023年度						
2024年度		新カリキュラム 完全移行		配置 免除	配置 義務	
2025年度						
2026年度				義務 配置	配置 義務	

共通科目カリキュラムの移行と 修了・承認申請スケジュール（基本）

19

【学生の修了】 旧カリキュラムで入学した学生は、旧カリキュラムのまま卒業し、卒業年次に修了証明書を発行する。

【承認申請】 2023年度までは、新カリキュラムと旧カリキュラムの両方を申請する。

	1年生	2年生	3年生	4年生	承認申請
2019年度	【旧カリキュラム履修】 - 修了証明書の発行 - 修了証明書発行料あり - 卒業年次の申請 - 検定試験なし				旧
2020年度					旧
2021年度					新 + 旧
2022年度	【新カリキュラム履修】 - 修了証明書の発行なし（発行料なし） - 在学中の申請可 - オンラインテストあり - リファレンスブックの購入				新 + 旧
2023年度					新 + 旧
2024年度					新

共通科目カリキュラムの移行と 修了・承認申請スケジュール（特例①）

20

例) 旧カリキュラムの内容を3年生までに修了できている学校の場合

【学生の修了】 旧カリキュラムで入学した学生は、旧カリキュラムのまま卒業し、卒業年次に修了証明書を発行する。

【承認申請】 旧カリキュラムで入学した学生が在学中の場合も、当該年度に旧カリキュラム履修する学生がいなければ、新カリキュラムのみを申請し、旧カリキュラムの申請を免除する。

	1年生	2年生	3年生	4年生	承認申請
2019年度	【旧カリキュラム履修】 - 修了証明書の発行 - 修了証明書発行料あり - 卒業年次の申請 - 検定試験なし			旧カリキュラムの履修なし (3年生までに履修修了)	旧
2020年度					旧
2021年度					新 + 旧
2022年度	【新カリキュラム履修】 - 修了証明書の発行なし（発行料なし） - 在学中の申請可 - オンラインテストあり - リファレンスブックの購入				新 + 旧
2023年度					新 * 旧は免除
2024年度					新

共通科目カリキュラムの移行と 修了・承認申請スケジュール（特例②）

21

例) 新カリキュラムで申請する共通科目コースが旧カリキュラムの共通科目コースと同等かそれ以上の場合

〔旧：共通Ⅰ＋Ⅱ ⇒ 新：共通Ⅱ or 共通Ⅲ〕 〔旧：共通Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ ⇒ 新：共通Ⅲ〕

【学生の修了】 旧カリキュラムで入学した学生は、旧カリキュラムのまま卒業し、卒業年次に修了証明書を発行する。

【承認申請】 新カリキュラムを申請する場合、旧カリキュラムの申請を免除する。

	1年生	2年生	3年生	4年生	承認申請
2019年度	【旧カリキュラム履修】 - 修了証明書の発行 - 修了証明書発行料あり - 卒業年次の申請 - 検定試験なし				旧
2020年度					旧
2021年度					新 *旧は免除
2022年度	【新カリキュラム履修】 - 修了証明書の発行なし（発行料なし） - 在学中の申請可 - オンラインテストあり - リファレンスブックの購入				新 *旧は免除
2023年度					新 *旧は免除
2024年度					新

共通科目カリキュラムの移行と 修了・承認申請スケジュール（特例③）

22

例) 共通科目カリキュラムの移行にあたって、学校で実施する授業に変更が生じない、または、授業を縮小することで対応できる場合

【学生の修了】 旧カリキュラムで入学した学生も、新カリキュラムに移行し卒業することができる。ただし、新カリキュラムの要件を満たすこと（オンラインテストの合格、リファレンスブックの購入等含む）。

【承認申請】 移行期間を置くことなく、新カリキュラムに切り替えて申請することができる。

	1年生	2年生	3年生	4年生	承認申請
2019年度	【旧カリキュラム履修】				旧
2020年度	【新カリキュラム履修】 - 修了証明書の発行なし（発行料なし） - 在学中の申請可 - オンラインテストあり - リファレンスブックの購入				新
2021年度					新

* 以下は現在の分類

分類	免除内容	共通 I (35h)	＜共通 I + IIコース＞ (70h:35h+35h)	＜共通 I + II + IIIコース＞ (152.5h:35h+35h+82.5h)	備考
【A】 全国体育系大学 学長・学部 長会に加盟する 大学・学部	大学(学部)を卒業することで、 共通科目 I の免除(スポーツリーダー認定の申請が可能)が受けられる。共通科目 II・IIIに関しては取得単位によらず修了証明書発行の申請ができる。	カリキュラムの審査:なし 取得単位の確認:なし(卒業) 修了証明書:発行しない ■所定の手続き※により講習会受講時に共通科目 I を免除する(平成17年度卒業生より) ■卒業時に大学からの申請でスポーツリーダー認定が可能である(卒業後であっても、大学が受け付けられれば、スポーツリーダー認定が可能である) 認定料:3,240円	カリキュラムの審査:なし 取得単位の確認:なし(卒業) 修了証明書:申請した学生に発行する (共通科目 I + II を申請した場合は、修了証明書と併せてスポーツリーダーとして認定される。修了証明書発行料:6,480円) ■修了証明書+スポーツリーダー認定証 ■卒業後の修了証明書の発行は行わない	カリキュラムの審査:なし 取得単位の確認:なし(卒業) 修了証明書:申請した学生に発行する (共通科目 I + II + III を申請した場合は、修了証明書と併せてスポーツリーダーとして認定される。修了証明書発行料:10,800円) ■修了証明書+スポーツリーダー認定証 ■卒業後の修了証明書の発行は行わない	テキストの購入は義務付けない
【B】 保健体育教員 免許が取得できる 学部・学科	大学(学部・学科)を卒業することで、共通科目 I の免除(スポーツリーダー認定の申請が可能)が受けられる。共通科目 II に関してはカリキュラム・取得単位によらず修了証明書発行の申請ができるが、共通科目 III に関してはカリキュラムの審査・取得単位によって修了証明書発行の申請ができる。	カリキュラムの審査:なし 取得単位の確認:なし(卒業) 修了証明書:発行しない ■所定の手続き※により講習会受講時に共通科目 I を免除する(平成17年度卒業生より) ■卒業時に大学からの申請でスポーツリーダー認定が可能である(卒業後であっても、大学が受け付けられれば、スポーツリーダー認定が可能である) 認定料:3,240円	カリキュラムの審査:なし 取得単位の確認:なし(卒業) 修了証明書:申請した学生に発行する (共通科目 I + II を申請した場合は、修了証明書と併せてスポーツリーダーとして認定される。修了証明書発行料:6,480円) ■修了証明書+スポーツリーダー認定証 ■卒業後の修了証明書の発行は行わない	カリキュラムの審査:あり 取得単位の確認:あり 修了証明書:申請した学生に発行する (共通科目 I + II + III を申請した場合は、修了証明書と併せてスポーツリーダーとして認定される。修了証明書発行料:10,800円) ■修了証明書+スポーツリーダー認定証 ■卒業後の修了証明書の発行は行わない	テキストの購入は義務付けない
【C】 前記以外の大学	カリキュラムの審査を受け、取得した単位によって修了証明書発行の申請ができる。 ※学部・学科を越えてコースを設定する場合は、大学名で申請する	共通科目 I だけの適応コース申請は認めない。 ■専門科目のみの申請は認めない	カリキュラムの審査:あり 取得単位の確認:あり 修了証明書:申請した学生に発行する (共通科目 I + II を申請した場合は、修了証明書と併せてスポーツリーダーとして認定される。修了証明書発行料:6,480円) ■修了証明書+スポーツリーダー認定証 ■卒業後の修了証明書の発行は行わない	カリキュラムの審査:あり 取得単位の確認:あり 修了証明書:申請した学生に発行する (共通科目 I + II + III を申請した場合は、修了証明書と併せてスポーツリーダーとして認定される。修了証明書発行料:10,800円) ■修了証明書+スポーツリーダー認定証 ■卒業後の修了証明書の発行は行わない	テキストを購入することが望ましい
【D】 専門学校	カリキュラムの審査を受け、取得した単位によって修了証明書発行の申請ができる。	共通科目 I だけの適応コース申請は認めない。 ■専門科目のみの申請は認めない	カリキュラムの審査:あり 取得単位の確認:あり(単位取得状況一覧提出) 修了証明書:申請した学生に発行する (共通科目 I + II を申請した場合は、修了証明書と併せてスポーツリーダーとして認定される。修了証明書発行料:6,480円) ■修了証明書+スポーツリーダー認定証 ■卒業後の修了証明書の発行は行わない	カリキュラムの審査:あり 取得単位の確認:あり(単位取得状況一覧提出) 修了証明書:申請した学生に発行する (共通科目 I + II + III を申請した場合は、修了証明書と併せてスポーツリーダーとして認定される。修了証明書発行料:10,800円) ■修了証明書+スポーツリーダー認定証 ■卒業後の修了証明書の発行は行わない	テキストの購入を義務付ける

I. 分類の廃止

～2019	2020～（2024～完全移行）
分類Aは共通科目Ⅲまで、分類Bは共通科目Ⅱまでのカリキュラム審査免除	全ての大学・専門学校のカリキュラムを審査する＊1
分類Aは共通科目Ⅲまで、分類Bは共通科目Ⅱまで、学生は卒業のみを要件に修了申請できる（取得単位確認の免除）	取得単位の確認と検定試験（オンラインテスト）の合格が必要＊2
分類A・Bは、卒業後でも大学が認めればスポーツリーダーのみ申請できる	2019年度をもって廃止
分類A・Bの大学（学部）を所定の年度に卒業した学生は卒業証明書によって共通科目Ⅰを免除することができる	2019年度をもって廃止
（ジュニア特別コースを除き）共通科目Ⅰのみの承認申請はできない	共通科目Ⅰコースは全ての学校が申請できる
テキストの購入を分類Dにのみ義務付ける	リファレンスブックの購入をすべての学校（学生）に義務付ける＊3

* 1 分類A・Bの共通科目コース審査実施について

同じ分類であっても、学校によって学ぶ内容に大きな差異があるほか、学生によって履修する内容が公認スポーツ指導者資格の必要科目に対して必ずしも十分でない状況が一部存在しているため。

* 2 分類A・Bを修了する学生の取得単位確認の実施について

これまで分類A・Bの大学の学生は、承認された学部（学科）の卒業を要件に共通科目コースの修了申請が可能であったが、今後は在学中でも修了できる取り扱いにすることから、学生ごとの取得単位の確認が必要となるため。

* 3 テキスト（リファレンスブック）の購入義務付けについて（全体）

リファレンスブックとは：公認スポーツ指導者資格の共通科目の講習中はもちろんのこと、講習終了後も、スポーツ指導を行う際に何度もリファレンス（参照・参考）できるものとして位置付けている。

⇒適応コースの学生も通常の養成講習会の受講者（資格保有者）と同じ内容を学んでいただくとともに、資格取得後もスポーツ指導を行う際にリファレンスするため

※授業での利用は必須ではないが、利用することが望ましい。

※オンラインテストはリファレンスブックにもとづいて出題される。

※初版1,000部8月頃から販売予定（価格未定）

専門科目コースの審査要件については、原則改定なし。

※ただし、科目ごとにカリキュラムの変更が行われるものがあるため、今後当協会及び専門科目団体（中央競技団体等）から順次ご連絡します。

【現時点の予定】

- ・ ジュニアスポーツ指導員⇒変更通達済み（移行期間2019～2022年度）
- ・ アシスタントマネジャー⇒変更検討中
- ・ アスレティックトレーナー⇒変更検討中

●その他の専門科目コースは、順次ご連絡します。

- | | |
|--------------------|------------------|
| ・ スポーツプログラマー | ・ ハンドボールコーチ 3 |
| ・ 水泳コーチ 1、コーチ 3、教師 | ・ 空手道コーチ 1 |
| ・ テニスコーチ 1、教師 | ・ セーリングコーチ 1 |
| ・ ホッケーコーチ 3 | ・ ソフトテニスコーチ 1 |
| ・ アーチェリーコーチ 1 | ・ エアロビックコーチ 1、教師 |
| ・ バレーボールコーチ 1 | |

- ① 各種手続き時に用いる様式や手続き方法の詳細・日程については、改めてご連絡いたします。
- ② 本説明会（全4回）でのご意見、ご質問を経て、資料の内容が更新される可能性がございます。更新された内容についても改めてご連絡いたします。

①②の内容について、取りまとめたものについては、8月中を目途に各学校の担当者様宛にご連絡いたします。

■2020年度の免除適応コース承認申請の期限

新規：2020年1月末日（共通科目旧カリキュラムは原則NG）

継続：2020年3月上旬頃

■2019年度の修了証明書発行について（現行の手続き）

最終締切：2020年3月下旬頃

* 詳細については、2019年10月頃に改めてご連絡いたします。

【共通科目カリキュラム審査関連】

Q スタートコーチ資格の開講は可能か？

A スタートコーチ資格は共通科目・専門科目を併せ、集合講習会形式1日で取得できることを想定していることから、免除適応コースでの開講は不可とします。ただし、中央競技団体が実施するスタートコーチ養成講習会の実施場所として学校が協力したり、学生が受講者となることは可能です。

【修了要件】

- Q** 旧カリキュラムを履修する学生が、所定の単位を修了した場合、卒業年度以前に修了証明書を発行することができるか？（移行期間中）
- A** 卒業年度以前に修了できるのは、新カリキュラムにて修了の要件を満たした学生に限ります（所定の単位の修得、オンラインテストの合格等）。また、新カリキュラムにおける修了申請では、修了証明書を発行しません。
- Q** 共通科目Ⅰを修了し、コーチングアシスタントの認定を受けた後、さらに共通科目Ⅱまでのカリキュラムを学んだ場合、申請の方法や費用はどうなるか？
- A** すでにコーチングアシスタントの認定を受けている者が共通科目ⅡまたはⅢまで学んだ場合、学校からの修了申請とオンラインテストの合格、2つの要件を満たせば、当該科目を修了したこととなります。その際、費用は発生しません（予定）。また、学生個人が保有する指導者マイページの「保有科目」に修了した科目（共通ⅡまたはⅢ）が表示され、その後、公認スポーツ指導者資格の受講時に当該科目の免除を受けられるようになります。

【修了要件】

Q 現行の修了証明書の取り扱いはどうなるか？

A 現時点では取り扱いを変更する予定はございません。

＊しかしながら、本制度の創設から約30年が経過し、スポーツ指導に関する知識も大きく変化してきていることから、修了証明書の取得から長期間が経過した方には何らかの方法で最新の知識を学んでいただくことが必要であると考えております。このことを踏まえ、今後、取り扱いの変更を検討する可能性がございます。

Q 科目等履修生や聴講生も申請することは可能か？

A 共通科目については、学校にて単位の修得を管理できる立場であれば可とします。したがって、科目等履修生は可ですが、聴講生は不可です。専門科目については、改めてご連絡いたします。